

武庫川女子大学教育研究所・押谷由夫主催

第1回 道徳教育 オンラインフォーラム

「特別の教科 道徳」を要に学校・学級を 真の 人間教育の場にしよう

# 道徳授業における言語活動の 充実



福岡県宗像市立玄海東小学校 主幹教諭 木下 美紀

令和4年3月19日(土)

[m.kishita@eri.bbiq.jp](mailto:m.kishita@eri.bbiq.jp)

# 教科化における重点ポイント



考え、議論する道徳科への転換！



① 目標の改善 ・21世紀型能力を入れて

② 内容の改善 ・系統的な内容・キーワード

③ 方法の改善 ・主体的・対話的で深い学び

④ 道徳の評価 ・数値での評価はおこなわない

⑤ 国の検定教科書

それは、  
いつもの毎日にやってくる、  
半歩先の未来。



## これまでの社会

知識・情報の共有、連携が不十分



IoTで全ての人とモノがつながり、  
新たな価値が生まれる社会

## これまでの社会

地域の課題や高齢者のニーズ  
などに十分対応できない



イノベーションにより、様々な  
ニーズに対応できる社会



AIにより、必要な情報が  
必要な時に提供される社会

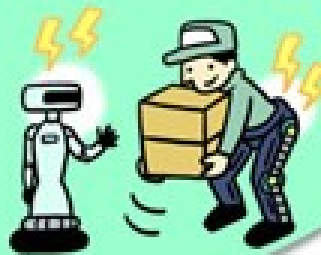


## これまでの社会

必要な情報の探索・分析が負担  
リテラシー（活用能力）が必要



ロボットや自動走行車などの技術で、  
人の可能性がひろがる社会



## これまでの社会

年齢や障害などによる、  
労働や行動範囲の制約



# Society 5.0

# 令和の日本型学校教育

## 個別最適な学び

学習者の特性や進度、到達度に応じて、指導方法・教材や学習時間などが保証され（指導の個別化）、学習者の興味・関心に応じて柔軟に学習を最適化する（学習の個性化）学び

## 協働的な学び

同一学年・学級集団をはじめ、異学年間や他校との学び合いなど、様々な場面での学び

参考：文部科学省HP「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての  
子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～  
（答申）（中教審第228号）【令和3年4月22日更新】 access2021.7.27

# 質の高い多様な指導方法



## 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えること

→ 道徳的価値の理解を深める

## 様々な道徳的諸価値に関わる問題や課題を主体的に解決する学習

- ・ 問題場面を自分に当てはめてみることを促す発問
- ・ 問題場面における道徳的価値の意味を問う

→ 価値を実現するための資質・能力を養う

## 道徳的行為に関する体験的な学習

- ・ 問題場面を実際に体験してみること
- ・ それに対して自分ならどんな行動をとるか問題解決のための役割演技

→ 道徳的価値を実現するための実践的な資質・能力を養う



## 今日お話する内容

①はじめに 道徳の教科化への転換  
～令和の日本型学校教育 大切にしたい授業づくり～

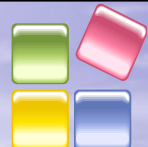
②道徳科における言語活動の充実

- ・問題意識を大切に
- ・多面的・多角的な思考を促す
- ・ICT機器と道徳授業

③おわりに

具体的な実践から

# 教科化における重点ポイント



考え、議論する道徳科への転換！



① 目標の改善 ・21世紀型学力を入れて

② 内容の改善 ・系統的な内容・キーワード

③ 方法の改善 ・主体的・対話的で深い学び

④ 道徳の評価 ・数値での評価はおこなわない

⑤ 国の検定教科書

# 道徳科における言語活動の充実



考え、議論する道徳科への転換！

教科等との共通性・道徳科の独自性を  
おさえる必要性

- ・各教科等との共通性
- ・道徳科の独自性



# 言語活動の充実について（全教科等）

## 第1章 言語活動の充実

### 前学習指導要領の理念 →踏襲

#### (3)各教科等における言語活

平成20年答申では、言語は知的活動（論理や思考）の基盤であるとともに、コミュニケーションや感性・情緒の基盤でもあり、豊かな心を育む上でも、言語に関する能力を高めていくことが重要であるとしている。このような観点から、新しい学習指導要領においては、言語に関する能力の育成を重視し、各教科等において言語活動を充実することとしている。（中略）

各教科等においては、国語科で培った能力を基本に、それぞれの教科等の目標を実現する手立てとして、知的活動（論理や思考）やコミュニケーション、感性・情緒の基盤といった言語の役割を踏まえて、言語活動を充実させる必要がある。

参考：文部科学省HP学習指導要領「生きる力」第1章 言語活動の充実に関する基本的な考え方 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/\\_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716_1.pdf) access2022.3.13



# 言語活動とは

## 前学習指導要領 の理念→踏襲

言語：知的活動（論理や思考）の基盤

コミュニケーションや感性・情緒の基盤

→豊かな心を育む上でも、言語に関する能力を高めていくことが重要

### (1) 知的活動（論理や思考）

ア 事実等を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝えること

イ 事実等を解釈し説明するとともに、自分の考えをもつこと、さらに互いの考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させること

### (2) コミュニケーションや感性・情緒に関すること

ア 互いの存在についての理解を深め、尊重すること

イ 感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を互いに伝え合ったりすること

# 道徳科における言語活動の充実

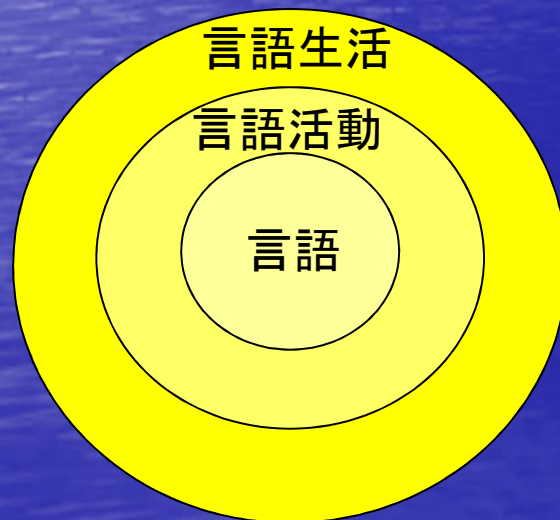


## 考え、議論する道徳科への転換！

### 言語活動

言語の機能：思考 コミュニケーション・自己調整

・言語・言語活動・言語生活（国語科から）



言語生活：言葉の介在している生活。言葉と人間が一体化

言語活動：現実態の言語生活から、言葉を営む主体的な活動として抽出。人間の「考える」という内的な精神的活動で支えられている。

言語：活動の主体者である人間とは切り離して抽出

出典：桑原隆(1996「)『言語生活者を育てる』P14

# 道徳科における言語活動の充実について



## 考え、議論する道徳科への転換！

- ・「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。
- ・他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。

参考：文部科学省HP「学習指導要領新しい学習指導要領の考え方－中央教育審議会における議論から改訂そして実施へ－」平成29年度小・中学校新教育課程説明会（中央説明会）文部科学省説明資料access2022.3.13

# 道徳科における言語活動の充実について



## 考え、議論する道徳科への転換！

道徳教育の目指すものが、「道徳的な諸価値の自覚」であることはいうまでもない。(中略)

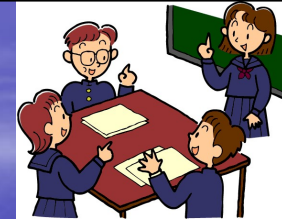
道徳的な諸価値を「自覚」するためには、考えることを通じて、自分を含めた「他者」と対話し、議論することで「腑に落ちる」経験が必要である。その意味では、「理解」から「自覚」へつなぐ(架橋する)方法が、「考え、議論する道徳」であるといえる。

道徳科の学習指導要領解説から語る！

小84

中83

## 多様で効果的な指導方法

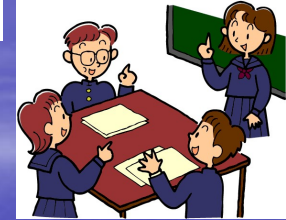


- 道徳科に生かす指導方法には多様なものがある。 ねらいを達成するには、児童（生徒）の感性や知的な興味などに訴え、児童（生徒）が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことができるように、ねらい、児童の実態、教材や学習指導過程などに応じて、最も適切な指導方法を選択し、工夫して生かしていくことが必要である。

# 道徳にかかわる教育課程の改善の方策

中央教育審議会答申より

## 多様で効果的な指導方法



- 対話や討論などの言語活動を重視した指導
- 道徳的習慣や道徳的行為に関する指導
- 問題解決的な学習を重視した指導など
- 小中の違いを踏まえた指導方法の工夫
- 授業公開・家庭や地域の人々も参加

# 道徳科における言語活動の研究



考え、議論する道徳科への転換！



○対話活動の中で、子ども達の中で何が起きているのか

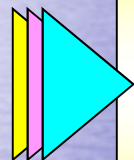
- ・心理学的(情動)
- ・倫理的(倫理)
- ・哲学的(思考)



# 教科化における重点ポイント



これを大切にしたい！授業づくり



①問題意識を大切にした  
授業づくり



②多面的・多角的な思考を促す  
言語活動の工夫

## 道徳科における問題とは？



道徳的問題であり、道徳的価値が含まれており、ねらいに関わる事項



道徳科における問題とは道徳的価値に根ざした問題であり、単なる日常生活の諸事象とは異なる。

## 道徳科における問題とは？



### ①道徳的行為が実現されていないことに起因する問題

できていないこと 学活の生活に関する問題と区別

例：かぼちゃのつる

### ②道徳的価値について理解が不十分又は誤解していることから生じる問題

本当の友情とは？→新たな価値を発見する

### ③道徳的諸価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とそうできない自分との葛藤から生じる問題

できているときと、できていないときがある混在する自分

### ④複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題

拮抗していて選択しがたく、どちらが正しいかわからない道徳的問題であり、道徳的価値が含まれており、ねらいに関わる事項

# 問題意識と学習テーマ



切実感のある問いを！

## 社会テーマ

社会的な課題に関わる問題意識

教材の中で生まれる  
問題意識

## 教材テーマ

身近な生活でのテーマ

## 生活テーマ

道徳的価値に直接関わる問題意識

## 価値テーマ



問題とは？

問題意識生成の仕組み

指導過程

実践

問題解決的な学習の指導過程

問題意識の連続

導入

①日常生活  
OR教材

どうしても知りたい(向上欲求に)  
問題の意識化→把握→問題意識へ

学習課題の明確化  
仮説も ※方法論は、教材提示後

展開

②教材

多面的・多角的な思考

※役割演技・対話活動等  
アクティブ・ラーニング

③自己の振り返り

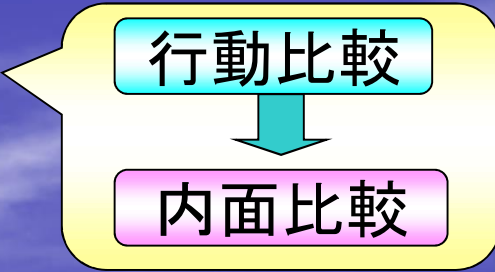
学習の**学び・納得**(体験と結  
んで) (自己モニタリング)

終末

自分なりの納得解

大切にしたい心・なり  
映像(実践意欲)自己課題

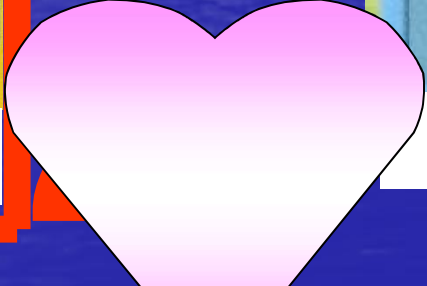
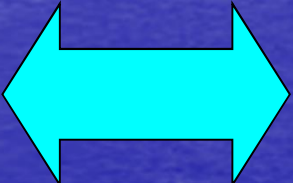
# 問題意識をもつための着眼点①



席をゆずる



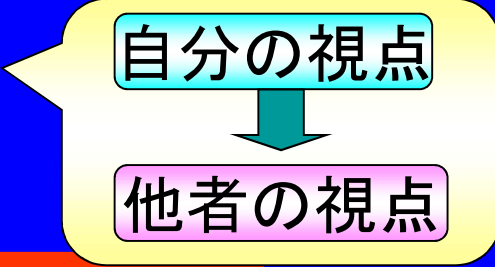
何が  
ちがう？



めあて

〇〇ができる自分になるにはどんな心が大切か考えよう。

# 問題意識をもつための着眼点②



## 複数絵ペア

子どもの概念（本当の親切）とのズレを生じさせる複数絵ペア

切?  
する親切(手助け)  
受け入れられる(喜ばれる)  
受け入れられる(喜ばれる)  
席をゆずる

めあて

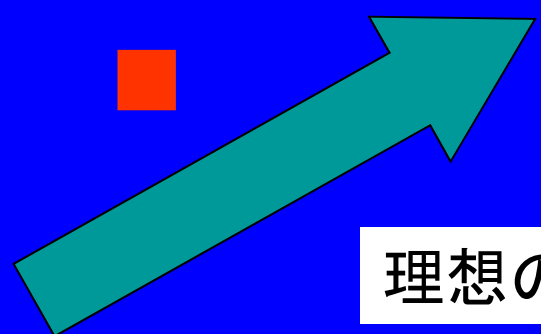
本当の□□について考えよう。

# 問題意識をもつための着眼点③

今の自分



理想の自分



現在の自分



理想の自分(自己内モデル)



ぼくはどのくらいできてい  
るかな？  
理想の自分にな  
るには？

めあて

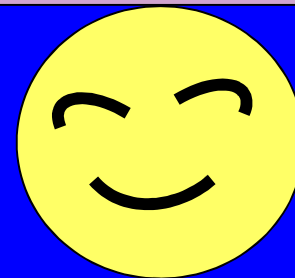
〇〇なわたしになるためのひみつを見つけよう。



わたしにもあるよ やさしい心(はしの上のおおかみ)



何が  
ちがう？



1

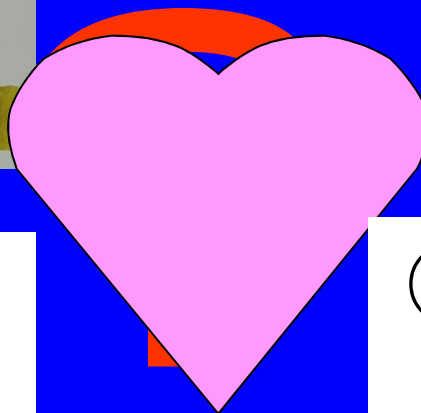


4



①いじわるしている  
おおかみ

②やさしくしている  
おおかみ



# 鶴居村立鶴居中学校の授業から学ぶ



思いや考えを伝え合い、思考を深める

3年 「きまりを守る」

C(10) 遵法精神、公德心

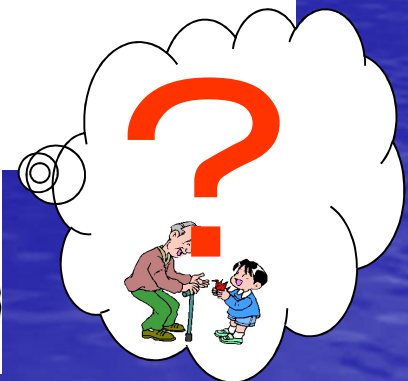
教材名「二通の手紙」私たちの道徳



## 発問から

- きまりは大事ですか？
- なぜきまりは大事ですか？
- きまりを守ることができない事態が生じたら？
- それでもきまりは大事ですか？

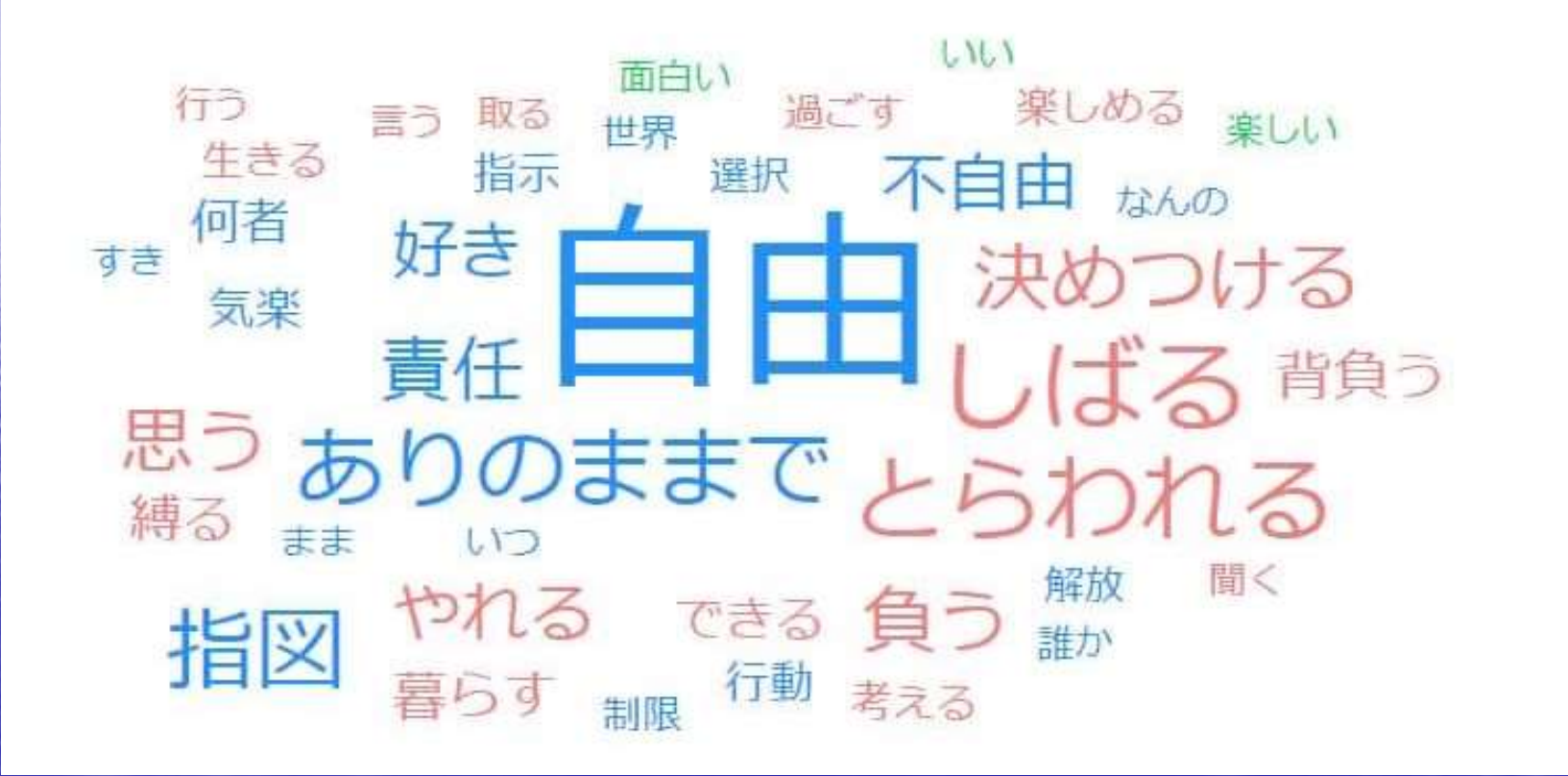
福岡県教育センター 石硯昭雄氏研究資料より



# 視覚的な情報で問題意識を！

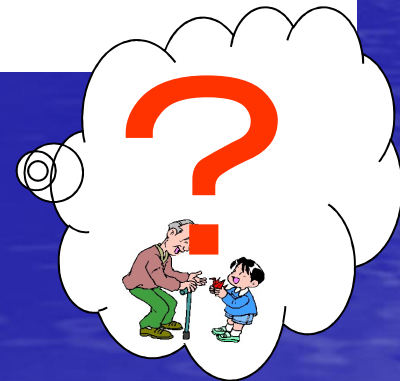


## 自由とは？（テキストマイニング）



## 問題意識を大切にしたい授業づくり

- ①ええ?? (驚きがあるか?)
- ②どうしてだろう? (疑問が生じるか)
- ③どちらが正しいのだろう?  
(少し困る場面があるか)
- おかしいぞ! 今までとは違うぞ!  
なぜだろう?  
(はてな?が生じるか)



# 教科化における重点ポイント



これを大切にしたい！授業づくり



①問題意識を大切にした  
授業づくり



②多面的・多角的な思考を促す  
言語活動の工夫

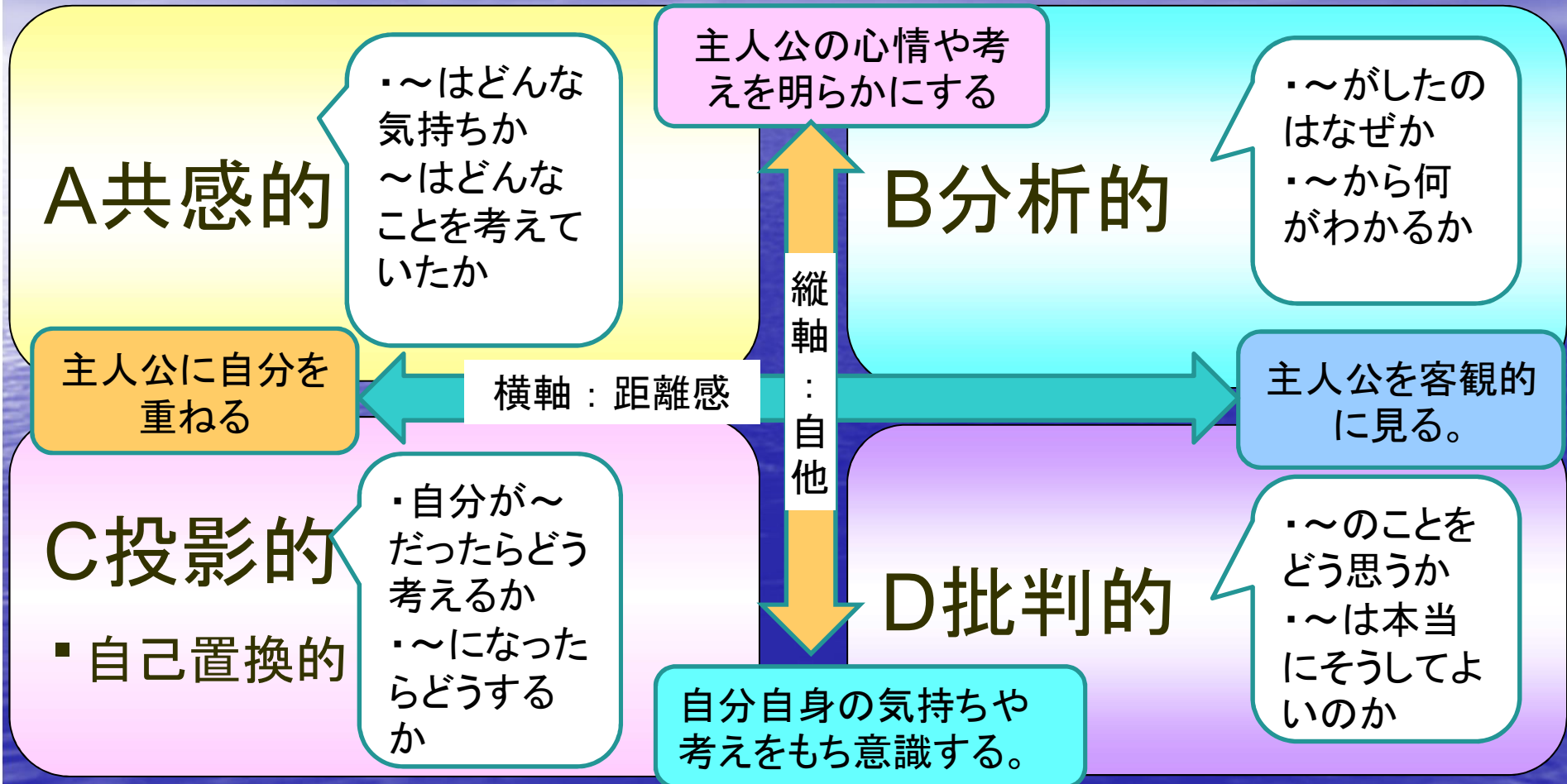
## 表現活動の工夫

- (1) 言語的表現活動 (タブレットの活用)
  - ・書く活動・話し合う活動
  - ・ジャムボード等
- (2) 動作的表現活動
  - ・動作化
  - ・役割演技
- (3) 視覚的表現活動 (タブレットの活用)
  - ・心情図
  - ・ネームカード
  - ・ジャムボード
  - ・付箋紙
  - 等

ポイント！

# 多面的・多角的に考えを深める③

## 発問の工夫～発問の立ち位置・4区分～





# 言語活動が活性化する教具

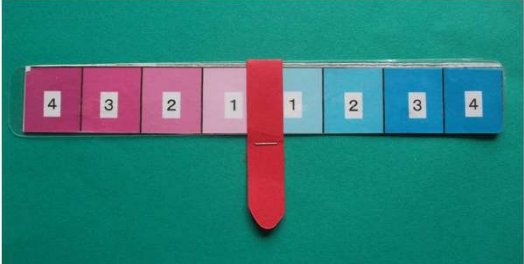


心のいろ



ハート図①

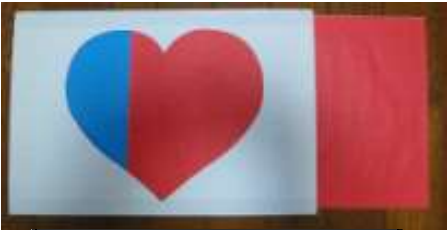
心のつなひき



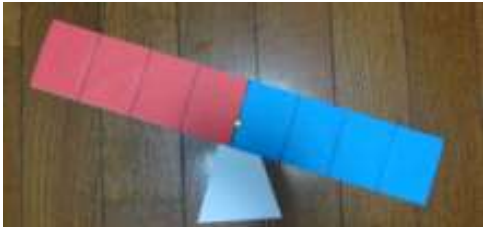
心のものさし



表情図



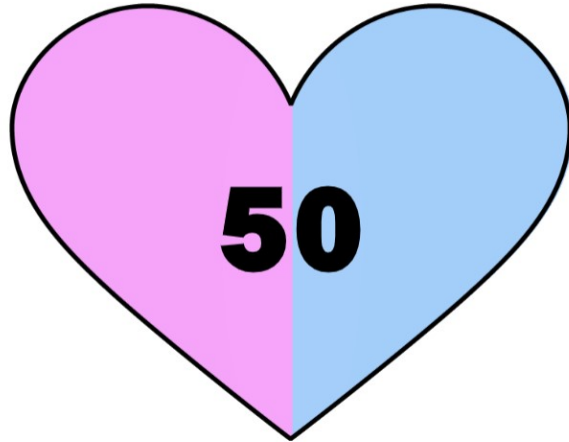
ハート図②



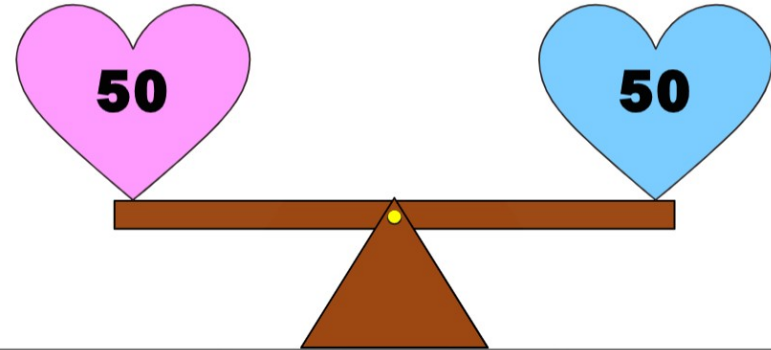
見える化（表出）  
交流の必然性



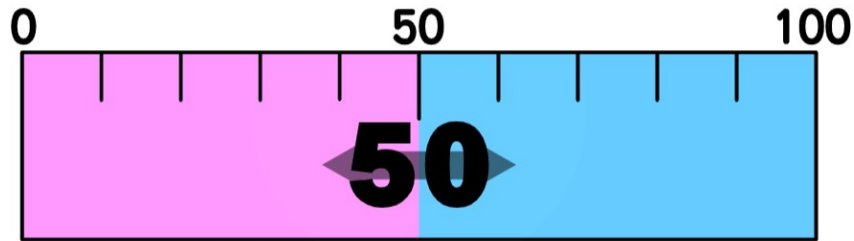
# 心の数直線



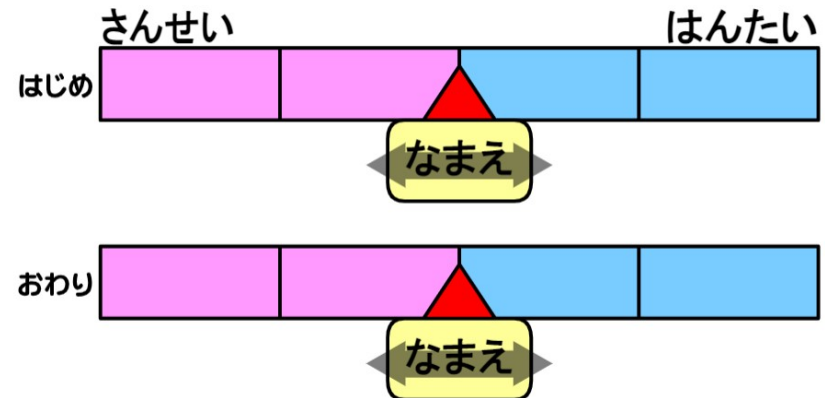
# 心の数直線



# 心の数直線



# 心の数直線



出典: 熊本市教育センターデジタル教材 access:2021.11.23

<http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/kyouzai/web/Heart-meter3/index.html>

# 教具の活用（内言と外言をつなぐ）



## 【思考ツール】(児童、生徒)

- ・自己の考えの可視化
- ・自己モニタリング
- ・自己の対象へのエピソードを引き出す。

## 【交流ツール】(児童、生徒)

- ・他者との比較による自己の考えの拡充
- ・感情的共同体としての他者との交流(対話活動)

## 【評価機能】(教師)

- ・児童、生徒の傾向性の把握
- ・授業展開に生かす(交流)

# 考えを広げ・深める言語活動

## ①話し合う必然性

児童生徒が話し合ってみたい！と思っているか？

## ②テーマの把握

何について話し合うか分かっているか？

## ③話し合う材料

自分の考えを書いたノート等何をもとに話すか？

## ④話し合いのルール

話し合いの進め方が分かっているか？

## ⑤支持的風土（認め合う集団）

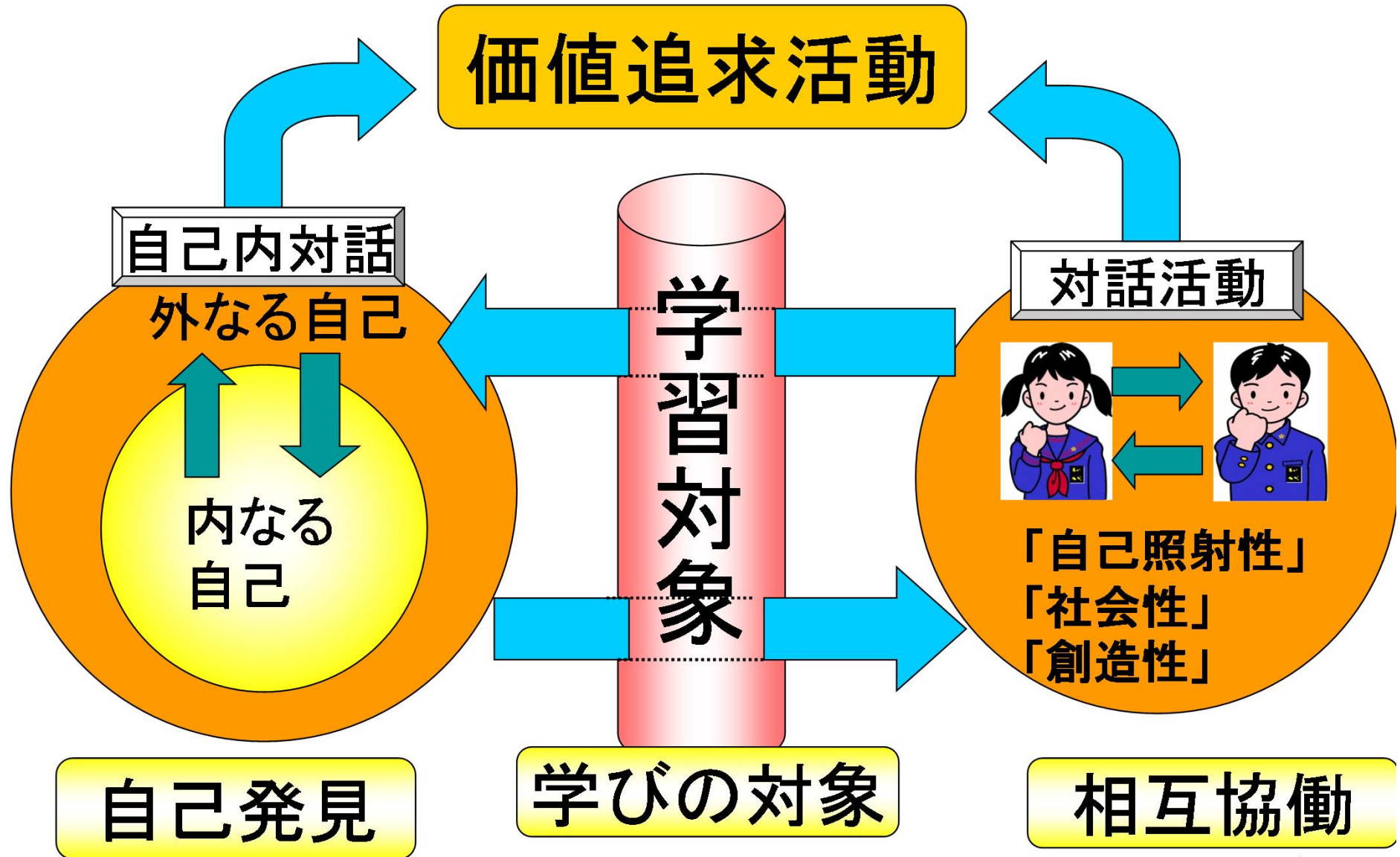
多様な考えを認め合う関係になっているか？



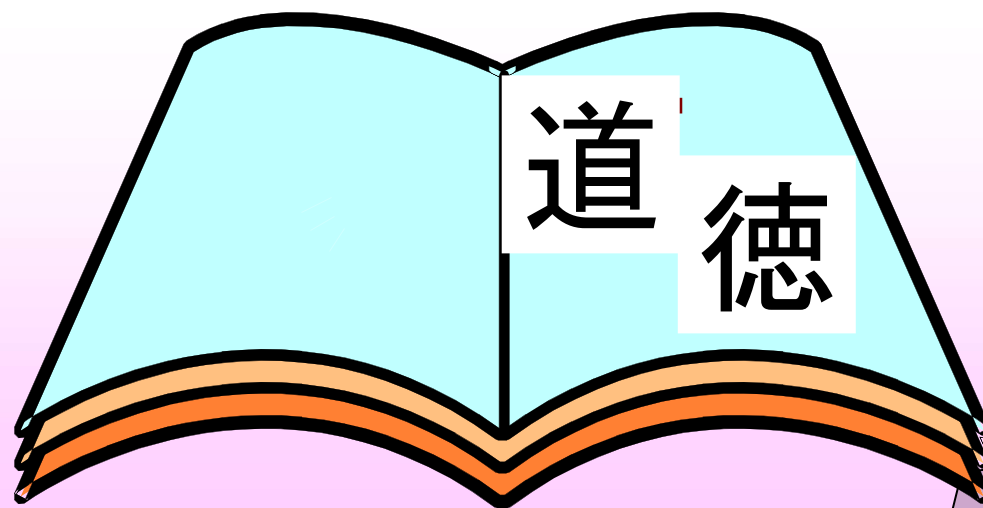
# 対話活動の意義

①問題意識

②言語活動



第4学年  
主題名 本当の親切とは？  
—教材名「心と心のあく手」—





- ・ 重い荷物を  
持って、  
坂道を登る  
おばあさん

- ・ 炎天下

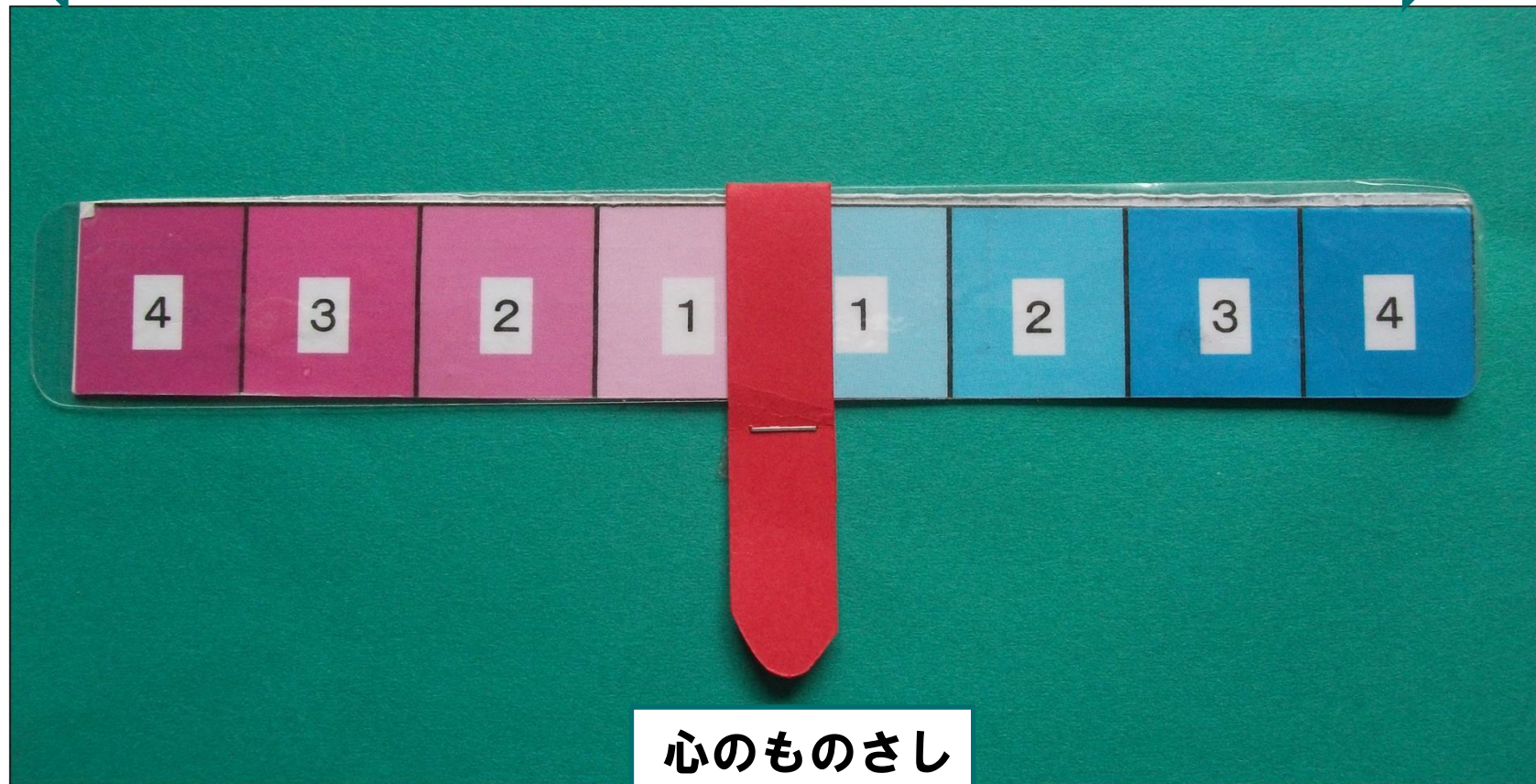
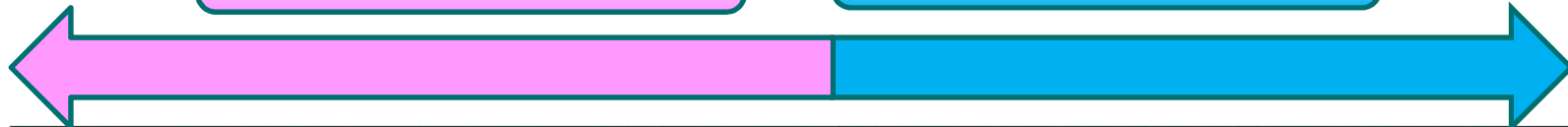
- ・ 足が少し  
不自由

- ・ 前にお手  
伝いしよう  
として断ら  
れた

# 言語活動が活性化する教具

声をかける

声をかけない



心のものさし



主人公は？



ここは伝えたい！

- ・ 「見守る」という行為のよさを教えるのではない。  
→行為の背景の心情とセットで！  
→自分のエピソードとつなぐ（自我関与）
- ・ AorBではなく、Cに至る気づきを！（視点の変更）
- ・ 「最初声をかけた主人公」と「見守った主人公」の

## 比較

「何が違う？」 相手にとって何が最善か考える 吟味

「何が同じ？」 相手を思う心 放っておけない

「どんな心が加わったか？」

相手が望むことをじっくり考える

# 視点の変更(思考の枠組みの拡充)

- 時間軸 (創造的役割演技)
- 対称軸
- 条件軸
- 本質軸

・押谷由夫「対称軸、時間軸、条件軸、本質軸の視点移動のスキルを磨く」『道德教育8月号』明治図書 2018

## 道徳科における評価

指導と評価の一体化  
教師の指導の有効性の検証

### 道徳教育の評価

- ・ 学習内容についての見方・考え方が拡充されたか（学習内容）
- ・ 自分のこととしてとらえたか（自我関与）
- ・ 多面的・多角的な思考がなされたか
- ・ 自分の課題としてとらえたか（自己課題）

学習プリントの  
記述分析

学習プリントの記述分析  
（体験とむすんで）

- ・ ペア対話
- ・ 創造的役割演技  
（インタビュー）

- ・ 学習プリントの記述
- ・ 聞き取り

①発問

②問題意識

③評価

# 教科化における重点ポイント



これを大切にしたい！授業づくり



## ④ICT機器を 活用した 授業のよさは？

# I C T 機器を活用した学習

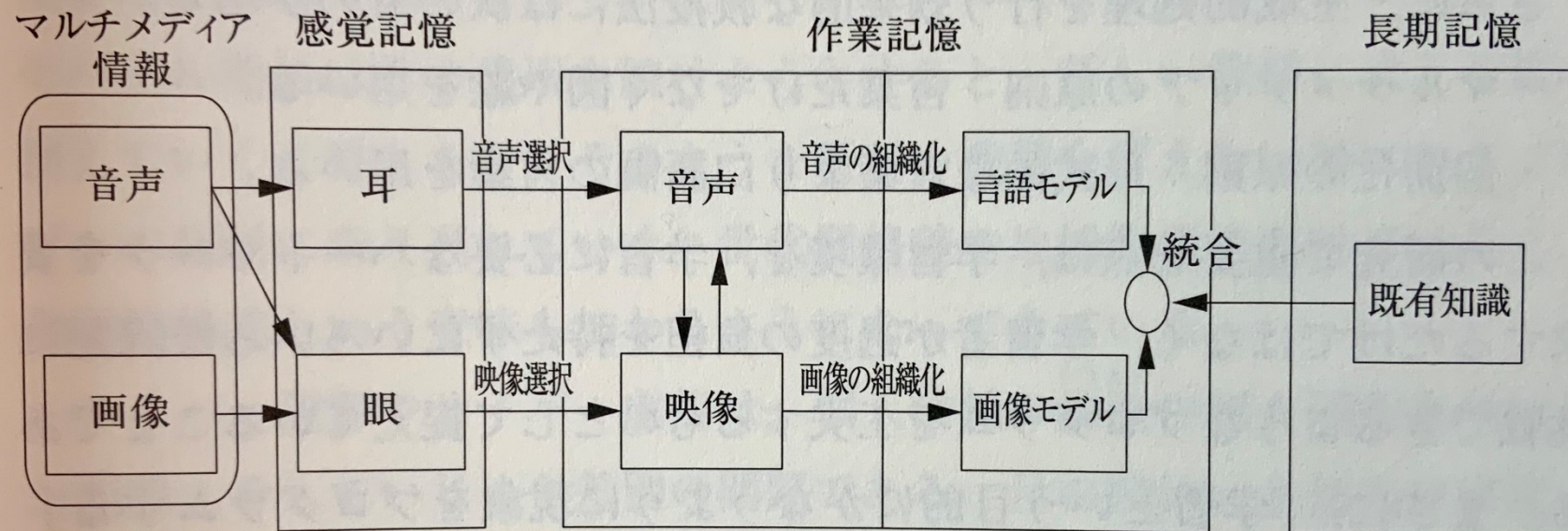
**メリット** 主体的な学びの保障：学習対象に対して自我関与を図る。個別最適化の学びへ。視覚的な情報により、理解しやすい。

**デメリット** 情報過多 社会的相互作用の減少  
※知と情の連動。認知的なアプローチから情意的なアプローチへ（道徳）エピソードと結ぶ

## 配慮事項

- ① 二重チャンネル：人は、言語素材と映像素材を処理する際に別々のチャンネルを用いる。
- ② 容量の限界：人は、各チャンネルで同時に少量の容量の素材しか処理できない。
- ③ 活動的な処理：学習者が学習過程において適切な認知的処理をしている場合、意味ある学習が生じる。

# I C T 機器を活用した学習

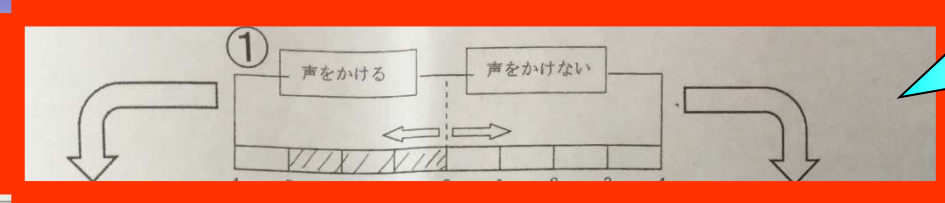


(OECD 教育研究革新センター, 2013, p. 220 より引用)

図 6-4 マルチメディア学習の認知理論

出典: 立田慶裕 『生涯学習の新たな動向と課題』 放送大学教育振興会 2018  
第6章 テクノロジーの学習 P99

# 対話活動前



本当の親切とは？（私は、その時考えて、行動することだと思いましたが、理由は、ずいぶん同じだと、たすけた人がかたしむかもしればいかに

1回自ら声をかけたから、2回目も声をかけるといいと思った。

足が不自由だから、1回ことわられても声をかける方がいいと思った。

1回目より暑い日だ、だから声をかけるといいと思った。

まうんだら、声をかけた方がスッキリすると思った。



友達の見方から

前にことわられたからいいと思った。

練習してるから、ゆまをしない方がいいと思った。

全体の場で話し合いたいこと  
 ○○○の意見の□□にならなくした。(取り入れたいところ)  
 ○○○の意見の△△を強まった。(強まったところ)

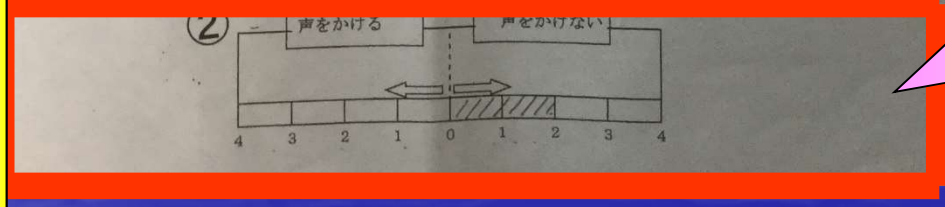
こんな経験から

こんな経験から

親切について  
 見つめよう。  
 その理由（わけ）  
 考えよう。  
 4年、組  
 児童⑬

## 理由を記述

- ①主人公の生き方から
- ②友達の考えから
- ③自分自身のエピソードから



# 対話活動後





## 自己評価（学習プリントの裏の活用）

○ 学習をふりかえりましょう。

- ① きよつの学習はわかりましたか (○) (○) (△)
- ② 自分の考えを友だちにつたえることができましたか (○) (○) (△)
- ③ 友だちのいけんでいいなあと思うものがありましたか (○) (○) (△)
- ④ これからどんな心を大切にしたいか考えましたか (○) (○) (△)

# 通知表要録につなぐ授業記録



①②どちらか選択

大きく

①自分とのかかわり

自分の体験をもとに話していたか

根拠をもとに話していたか

大きく

②多面的・多角的な考え

考えが広がったり、深まったりしているか

一面的な見方から多面的な見方へ

他律的見方から自律的見方へ

例えば、教材「心と心のおく手」において、

具体的な姿①②と連動して

子供とともにこだわりの授業づくりを！



ご清聴ありがとうございました。